

# 要ヶ丘



発行

海士町立海士中学校

住所

海士町大字海士九四四番地  
08514(2)0744

## 一学期を迎えて 校長 濱中 直

八月二十四日に二学期が始まり、一ヶ月が過ぎました。この間に学園祭、体育祭、隠岐郡弁論大会とい

った大きな行事を無事終えることができました。このような行事活動は、全校で協力し互いに認め合うことができる場であり、生徒の企画力・運営力の育成、そして、学校の代表として責任と誇りを持って取り組む貴重な機会となる大変有意義な活動です。一学期は様々な対外行事が中止となりましたが、新入戦、全隠岐駅伝大会等は新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で開催される予定です。校内行事についてもできる範囲で実施し、行事を通して身につく力をしっかりと伸ばしていきたいと考えています。また、本校は昨年度より「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善プロジェクトの研究推進校」として、協調学習等による授業改善と、自学ノート指導や学習大会等の学力向上に取り組んでいきます。学力調査の結果や意識調査を見ると研究の成果は見られますが、これに満足することなく、日々の地道な取組を大切にしながら「自ら学ぶ力」や「他者と協働し共生する力」

### 学園祭

二学期も新型コロナウイルス感染防止の関係で多くの制限がある中、生徒一人一人の健やかな成長のためにバランスの良い教育活動を工夫していきたいと思えます。保護者、地域の皆様には、どうか引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

#### A組

僕は、一年生で「緑」という役をしました。最初は自分の演技がうまくいかず、自信が持てませんでした。でも、相談すると「うまくなっているよ」と言われるようになり、少しずつ自信を持って練習に励むことができました。本番では、振り付けや台詞でミスをしてしまったので、来年こそは悔いのない学園祭になるようにしたいです。

〔二年 河内朝登〕

今回の学園祭では、私は大道具作りをまかされました。初の大道具作りで何をしたらよいか分からない時もありましたが、周りの人としつかりと協力して良いものを作ることができ、目標としていた「与えられた仕事をやりきる」ことが達成できました。本番もミスなく成功して、とても楽しい学園祭となりました。

〔二年 福井美里〕

私は中学生最後の学園祭でリーダーをしました。最初はどのようにしたらよいかわからなくて戸惑っていたけど、周りの三年生がサポートしてくれたり、一、二年生がちゃんとついてきてくれたので、演劇が完成していききました。また、みんなで見聞を出しながら劇を作っていたことがとてもよかったです。最後の学園祭が良い思い出となり良かったです。

〔三年 和泉さら〕

#### B組

僕はB組の音響をやりました。初めてだったので、分からない事もたくさんありました。でも、先輩や先生に聞いて頑張ってやりとげることができました。本番では、音が出なくなるハプニングもありましたが、フォローしてもらって、あせらずにやることができましたので良かったです。初めての学園祭はとても楽しかったです。来年の学園祭もとても楽しみたいです。

〔二年 藤井航平〕

今回の学園祭では「百花繚乱」をテーマにA組とB組の個性あふれる劇でした。今年は先生方の力に頼らず、自分たちで考え行動するのが一番の課題でした。チームの一人一人が意見を出し、協力し合うのはとても難しかったです。そんな中、三年生が僕たちを引っ張ってくれ、団結したチームができました。本番でもみんなが協力したので良かったです。

〔二年 田中溪渡〕

僕たちB組は「自分らしく」をテーマに頑張ってきました。自分たちらしい演技をするために、僕はB組のリーダーとして一人一人に声をかけることができました。思っています。「もっと面白くするには？更に良い劇を作るには？」ということを常に考えてきました。そして最後は、B組らしく良い劇ができたので良かったです。

〔三年 石倉大暉〕

# 体育祭

## A組

中学校に入り、はじめての体育祭でした。コロナの影響でルールが変わったので緊張していました。でも本番になるとみんなすごく盛り上がり、私も緊張が解け、競技を楽しみました。来年も楽しみたいです。

〔二年 真野あかり〕

私が一番記憶に残っているのはムカデ競争です。私は出場する競技が少ない分、ムカデ競争の練習を多くしていました。始めの頃はゆっくり進んでいましたが、慣れていくにつれてどんどん速く進むことができるようになりました。つまづくこともあったので少し不安でしたが、本番では安定して進むことができました。

〔二年 大野紗矢音〕

今回の体育祭は校庭でする予定でしたが、雨のため体育館になりました。少し残念でしたが室内で行う競技も楽しいものが多く、とてもよかったです。僕はリーダーとしてなかなかできることは少なかったですが、A組の勝利に少しでも貢献できたのでよかったです。とても良い体育祭になりました。

〔三年 井上和輝〕

## B組

私は体育祭が苦手でした。私にとって体育祭は、多くの人の前で恥をかくものだと思います。でも、本番では、周りの人が一生懸命に競技したり、逆にふざけたりして、それがすごく楽しく感じました。また、委員会の準備や片付けもテキパキとできたので、来年の体育祭ではもっと楽しんで取り組みたいです。

〔二年 吉田 凧〕

今回の体育館で行う体育祭は、僕にとっては初めてで、とてもびっくりしました。でも体育祭を終えて、前の学校よりも楽しく感じました。前の学校にはない競技などがあり、とてもおもしろかったです。またこの学校にいた理由が増えて、うれしかったです。

〔二年 森下 倅〕

今年の体育祭は、生徒達で協力して行うことができました。練習ではリーダーを中心に、全員がA組に勝つためにいろんな作戦を考えることができました。本番は負けてしまいました。が、B組みんな最後まであきらめず、ことなく取り組むことができたので良かったです。三年間で一番楽しい学園祭になりました。

〔三年 波多 恩〕



教育実習生の中熊先生より

国士館大学理工学部四年の中熊一徳と申します。景観工学を専攻しています。医学、心理学と寄り道をした後、沖縄県の宮古島で塾講師をしていました。そこで貧困の連鎖や宮古島での進学を望まない多数の生徒の存在、自然をはじめとする遺産を壊しかねない開発などに疑問を持ちました。「まちづくり×教育」に携わりたいと考え進学し、それが高じて昨年の四月から学習センターでインターンをしていました。地域学習の最前線である海士中学校で教育実習できることを楽しみにしていました。二週間とても勉強になりました。ありがとうございました。ございました。

# 弁論大会

九月九日(水)に、隠岐島文化会館において隠岐中学校弁論大会が開催されました。本校からは二年の中村詩さんと一年の石田蒼介さんが出場し、中村さんが最優秀賞、石田さんが優秀賞を受賞しました。学園祭の準備と並行しての少ない時間の中で、精一杯練習してきた成果を発揮したよい発表でした。弁論で伝えたメッセージをこれからも実践し、さらに成長していつてほしいと思います。なお、中村さんは、九月二十九日(火)に行われる「少年の主張 島根県大会」に隠岐の代表として出場します。

【能海】

私は初めて隠岐の弁論大会に出場しました。練習は学園祭の演劇練習の合間に行ったので、忙しかったですが、どちらも失敗をせずにできてよかったです。体育館練習は思った以上にやりにくかったです。できるだけたくさん練習しました。本番前は頭の中で繰り返しました。ステージに立つと緊張しましたが、特に大きな失敗もなくやり終え、県大会に出場できることになりました。嬉しかったです。応援していただき、ありがとうございました。ございました。

〔二年 中村 詩〕

僕はこの弁論大会を経て、練習の大切さを、そして支えてくださる人の有難みを改めて学びました。僕は本番数日前まで自信を持ってないでいました。「うまく話せるかな」「ミスしたらどうしよう」とばかり考えていました。それでも先輩やクラスメイト、先生、親など、たくさんの方が僕の背中を押してくれました。「もうやるしかない」と開き直り、練習に打ち込むと少しずつ上手になっていきました。これからも感謝を忘れず、頑張ります。

〔二年 石田蒼介〕

# 島前地区科学作品展結果

## 特選

一年 石田蒼介 渡邊紗月

二年 大野紗矢音

## 入選

一年 伊藤愛那 大海匠

大野滯夢 岡本日向

河内朝登 榊原都和

笹鹿一眞 塔本結

野津未優 濱田雪乃

藤井航平 船田沙織

真野あかり 村尾日夏里

木綿壮人 山斗秀真

吉田凧

伊藤聖那 川井愛唯

木村優菜 竹谷真結

田中溪渡 中野勇介

永原莉子 中村詩

波多洗輝 福井美里

森下倅